

新型インフルエンザ対策で

公明
掲示ニュース

万全の対応を要請



区民の
安全を守る!

スピード行動!!

高野区長は「早い段階から力を入れて対応しているが、公明党から緊急要請を受けましたので、今後についてもしっかり取り組んでいきたい」と表明。豊島区は、4月25日の

- ① 適切な情報提供
- ② 保険医療体制の確立
- ③ 小中学校などにおける健康チェック体制づくり
- ④ ワクチン早期製造などを国、都に要請

新型インフルエンザの世界的流行を受けて、公明党豊島総支部長の長橋けい一都議と党区議団は8日、豊島区役所で高野之夫・区長に新型インフルエンザ対策に関し、4点にわたる緊急要請を行いました。

公明党総支部長（都議）

長橋けい一と豊島区議団

新型インフルエンザが発生した直後の27日に対策本部を設置し、対策に当たっています。

新型インフルエンザはメキシコで発生し、世界保健機関（WHO）は4月25日に緊急事態声明を発表。30日には、警戒レベルを「フェーズ5」まで引き上げ、世界的大流行への警戒が強まっています。豊島区は新宿駅に次いで2番目に乗客数の多い池袋駅もあり、区内でも多くの人が行き交う区となっています。そのため新型インフルエンザの流行には、予断許さない状況です。

今回の申し入れは、区民の生命を守るために万全の対策を期すよう要請したもので、緊急に行われました。